無形文化財

本村鶏舞

天保年間（1835年）の大凶作に豊饒祈願のために五戸町切谷内地方から伝承されたといわれている本村の鶏舞。雌雄の鶏の飾りをつけた烏帽子をかぶり、おんどり・めんどりの仕草をする念仏踊りの一種で、特に踏む、跳ねるの所作が多く陽気な舞をみせます。

この伝統芸能は約160年間にわたり、時代を超えて小中学生の若い後継者たちに受け継がれている町の無形文化財です。

下田ふれあい音頭

作詞　平山忠夫
作曲　市川昭介
唄　金沢明子

1
なびくたて髪　いななく駒に
明けてうれしい　みどりの牧場ソレ
夢と希望の　豊かな資源
下田よいとこ　ハートピア
出合いふれあい　みなおいで
いつも仲よく　ソーレ　ソレソレ　ひと踊り

2
桜咲いたら　サツキはつぼみ
可愛いあの娘も　うす紅染めるソレ
こんど二人で　詣ろじゃないか
絵馬が人気の　氣比神社
出合いふれあい　みなおいで
いつも仲よく　ソーレ　ソレソレ　ひと踊り

3
実る稲穂に　にんじん育ち
今日はみんなの　ふるさと祭りソレ
笛や太鼓で　くりだす山車に
どこも笑顔の　人の波
出合いふれあい　みなおいで
いつも仲よく　ソーレ　ソレソレ　ひと踊り

4
紅葉散る頃　奥入瀬川に
みんな集まる　あの鮭まつりソレ
つかみどりした　大鮭よりも
可愛いあの娘を　つかみたい
出合いふれあい　みなおいで
いつも仲よく　ソーレ　ソレソレ　ひと踊り

5
歴史伝える　イチイの枝が
栄える町並み　みつめて繁るソレ
北の自然を　たのしむように
遊ぶ白鳥　下田町
出合いふれあい　みなおいで
いつも仲よく　ソーレ　ソレソレ　ひと踊り

本村獅子舞

江戸時代初期の山伏神楽の流れをくむ本村獅子舞も、北国の厳しい風土の中で行き続けた先人が生み育てた郷土芸能です。

毎年大晦日には本村神明宮の境内において舞われ、町の無形文化財に指定されています。